

2022/03/08

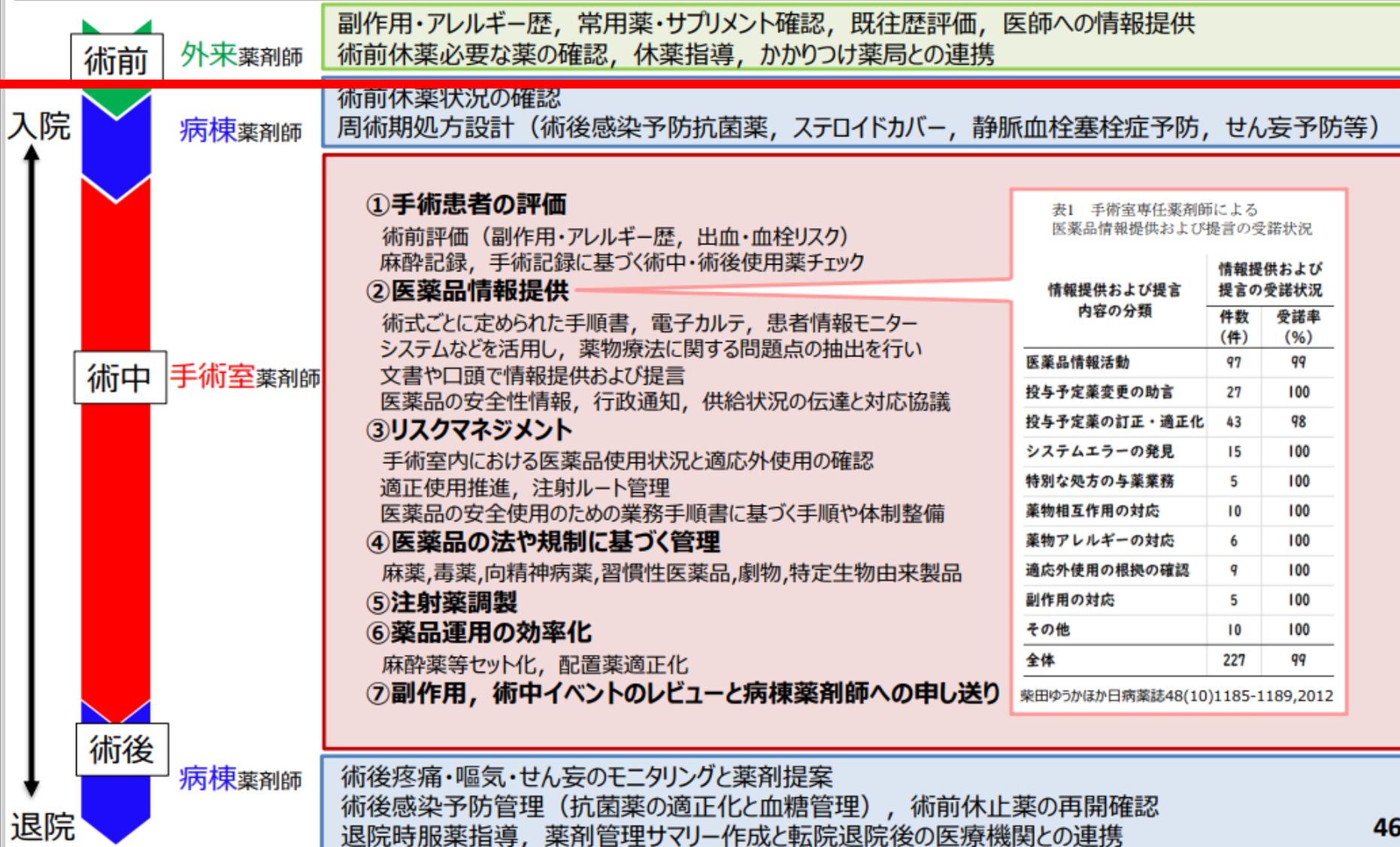
入院時持参薬セットの運用について

八戸市立市民病院 薬局

渡邊祐子

周術期における薬剤師の関与の具体例

○ 術前 術中 術後にわたり薬学的介入を行っている



46

おくすり確認外来での周術期支援

各診療科で入院決定



入退院支援センター・おくすり確認外来への依頼（事前or当日）



患者との面談

お薬手帳の確認（常用薬、副作用歴、かかりつけ薬局等）

健康食品・サプリメントの確認

医師の休薬指示内容の確認

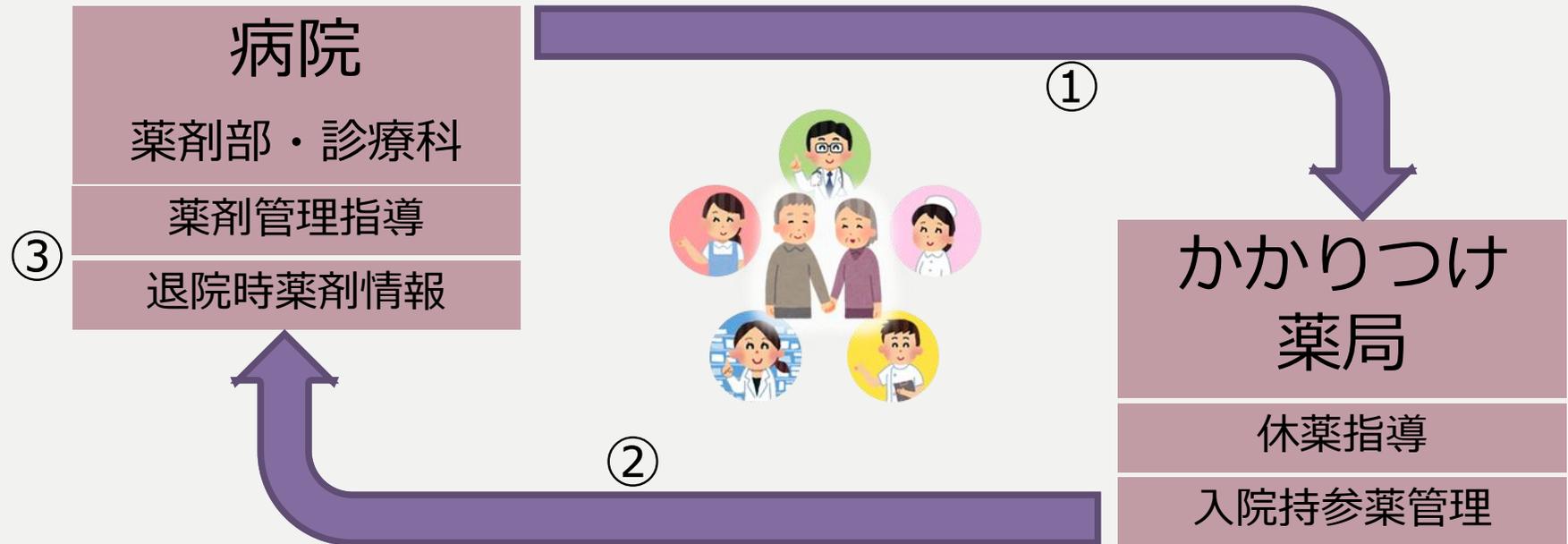
休薬についての患者指導（抗血栓薬など）

入院までの間に薬が追加になった場合の対処について



確認・指導内容を電子カルテへ入力
必要に応じ外来へ報告

私たちが目指す連携のかたち



- ① 病院薬剤師は入院予定患者にかかりつけ薬局（薬剤師）を確認、連絡を取り、休薬指示など入院中の服薬プランを伝達する。
- ② 薬局薬剤師は入院前に患者の持参薬を確認する。また、休薬のための薬剤調製や指導をおこない、入院中使用薬を患者に持たせる。
- ③ 病院薬剤師は薬剤管理指導をおこなう。退院後の指導に特に必要な情報をおくすり手帳に記す。

診療報酬改定

中央社会保険医療協議会 総会（第 516 回）

令和 4 年 2 月 9 日

個別改訂項目について 答申

Ⅲ－6 ③薬局における対人業務の評価の充実

【服薬情報等提供料】

1・2（略） 3 服薬情報等提供料 3 50点

〔算定要件〕 注 3

3 については、入院前の患者に係る保険医療機関の求めがあった場合において、当該患者の同意を得た上で、当該患者の服用薬の情報等について一元的に把握し、必要に応じて当該患者が保険薬局に持参した服用薬の整理を行うとともに、保険医療機関に必要な情報を文書により提供等した場合に 3 月に 1 回に限り算定する。これらの内容等については薬剤服用歴に記録すること。

入院時持参薬セットについて

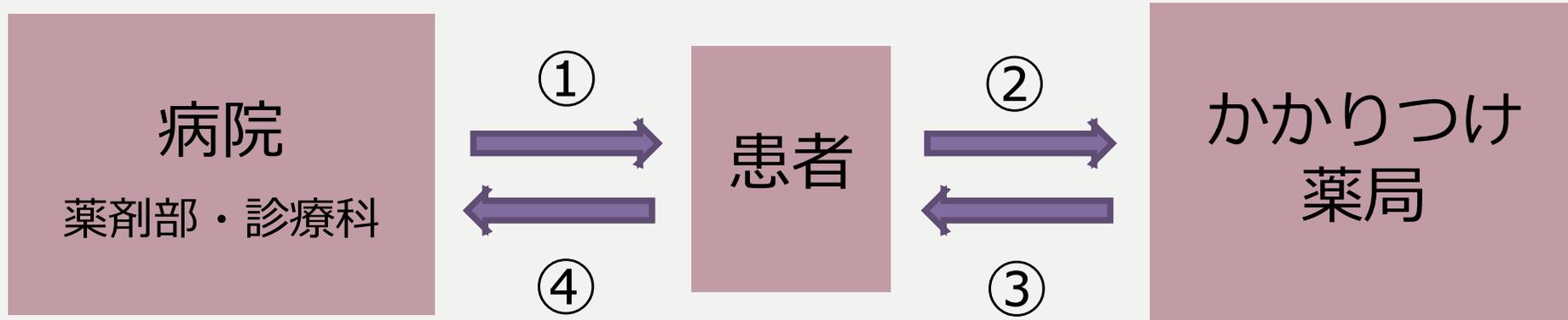
目的：病院(入院)と保険薬局(外来)における患者の薬剤情報を効果的に連携・活用することで、シームレスな薬学的ケアを患者へ提供する。

対象：手術入院前におくすり確認外来で面談を行った患者で、かかりつけ薬局のある患者

2021年9月

当院近隣の保険薬局と運用試行を開始

入院時持参薬セットの提案



- ①おくすり確認外来で入院準備連絡票を作成し、患者に提供する。
- ②患者は入院予定日までにかかりつけ薬局に入院準備連絡票、常用薬、お薬手帳を持参する。
- ③かかりつけ薬局は入院時持参薬セットを作成、合わせて入院準備連絡票に必要事項を記入し、患者に提供する。
- ④患者は入院準備連絡票、入院時持参薬セット（必要に応じ残りの薬）、お薬手帳を持参する。

入院時持参薬セット試行事例

2021年9月～2022年2月

おくすり確認外来での面談時点で、

持参薬セット施行薬局を利用していた患者 30例

⇒うち9例に入院時持参薬セット作成を案内

⇒うち5例が持参薬セットをかかりつけ薬局で作成し入院

入院時持参薬セット作成を案内できなかった事例

- ・ 当院からの処方薬があるが、入院時にちょうど飲み切りとなるため、入院時に持参する薬剤が無い
- ・ 薬剤数が少なく管理が容易などの理由により、患者から薬局でのセットは不要との申し出があった …等

入院時持参薬セット試行事例の概要

薬局	処方 医療機関	術前 休薬	一包化 からの 抜薬	持参薬 セットの 薬袋	持参薬 セット 作成日数	実際の 入院日数
A	1	無	無	—	7日	6日
A	4	無	無	機関毎	14日	8日
A	3	有	無	服用 時点毎	10日	8日
A	2	有	有	機関毎	3日	2日
B	3	有	無	機関毎	10日	9日



- 3医療機関の薬剤
- 医療機関毎に薬袋を作成
- 術前休薬あり

持参薬セットに関して 病院からの意見

- ◆(おくすり確認外来より)術前休薬中の薬剤は、中止薬と明記した薬袋で持参・内服中の薬剤とは分けてジップ袋で持参など、誤投薬を防止できる形がよい
- ◆(病棟担当薬剤師より)入院時点で薬剤が整理されており、常用薬が把握しやすかった
- ◆(病棟担当薬剤師より)入院準備連絡票に自宅での服薬管理者の記載があり、入院中の薬剤管理業務や退院時処方の一包化の検討などに役立つと感じた



バッグ、ジップ、袋などを利用した
ひとまとめの形が望ましい

(理由)

- ①入院分の薬剤であることが患者に分かりやすい。
- ②入院後は病棟で持参薬を一時預かり、病棟担当薬剤師が鑑別してから患者に返却、または病棟管理で看護師から配薬される。常用薬が移動する間にばらばらになるのを防ぐため、一まとめの形がよい。

持参薬セットに関して 薬局からの質問

Q.薬袋の作成方法

医療機関ごと、さらに用法ごとか？

医療機関すべてまとめて、服用時点ごとか？

⇒A.決まった形は無し。

患者の普段の服薬管理方法による

Q.P T Pで持ち込まれた常用薬を、一包化して持参薬
セットを作成したほうがよいか？

⇒A.当院としてはPTPのままでもよい。

患者の求めに応じて行う場合は、この限りではない。

持参薬セット作成の指針

これまでの試行事例から、以下のように作成をお願いしたい。

- ・ 常用薬の包装形態は変更せず、薬袋は医療機関ごと、服用時点ごとなど患者の普段の薬剤管理方法に応じて作成する。
ただし、患者の求めに応じて一包化を行う場合はこの限りではない。
- ・ 休薬中の薬剤は、誤投薬防止のため別に取り分け、休薬中であることを明記して入院時持参薬セットに添付する。
- ・ 薬袋類は袋等を利用してひとまとめにする。

持参薬セット推進にむけて

持参薬セットについての案内はしたが、持参薬セットの作成なく、常用薬をそのまま持参し入院した事例（4例）

- ・入院や手術が予定よりも早まったため、患者が薬局へ常用薬を持参するタイミングが無かった

処方せん調剤の時だけでなく、入院前ならどのタイミングでもかかりつけ薬局へ行ってよいことを病院でしっかり説明

- ・患者が自分で持参分の薬を準備できると考えたため、患者の判断で薬局へ行かなかった

持参薬セットを作ってもらふ意義を理解してもらふ
薬を準備してもらふだけでなく、入院後の安全な薬物療法の
ために薬の情報を整理してもらふため！

入院前からの薬物療法の支援のため、
ご協力をお願いいたします

